

東光コンサルタンツの技術短信 No.11 (橋梁)

<橋梁設計実績例>...当社設計例を御紹介します。

①鳩の巣大橋

- ・発注者：東京都西多摩郡奥多摩町役場
- ・路線：町道住安戸坂下線
- ・荷重：TL-14
- ・橋長：140m (90m + 50m)
- ・幅員：7.0m (車道 5.0m、歩道 2.0m)
- ・構造：鋼上路アーチ橋 + 曲線非合成連続版桁橋



鳩ノ巣大橋遠景

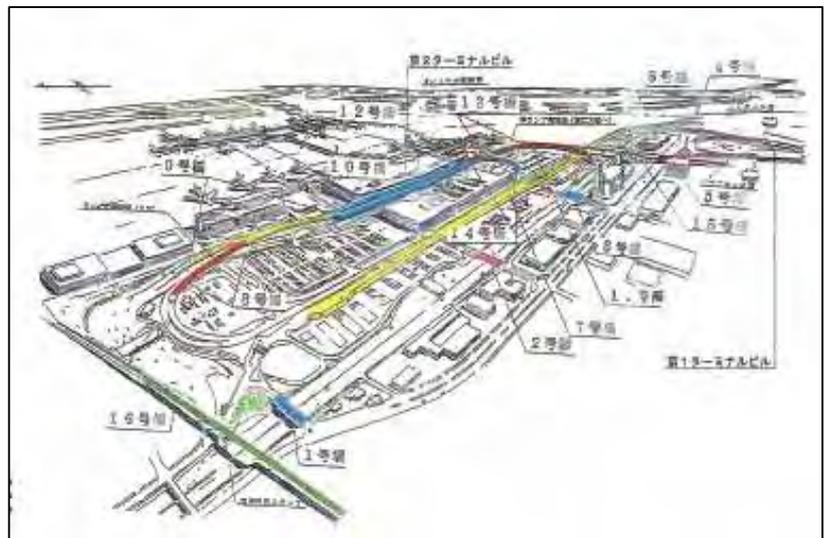
JR 東日本・青梅線「はとのす駅」から南へ1 km程下った所にあります。鳩ノ巣の地名の語源は、明暦3年(1657年)正月19日、江戸に振袖大火があり、その復興のための木材をこの地に求めましたが、飯場小屋のある水神社の森に2羽の鳩が巣を作っていて、霊鳥として愛護されていたことからこの名前があるとのこと。

②成田空港内橋梁群

日本の玄関、成田空港内の第二ターミナルビル周辺の高架橋は、当社設計によるものが多く、また橋脚の耐震補強設計も実施しています。



成田空港7号橋



雑学11 無塗装橋梁...

鋼製橋梁・無塗装耐候性橋梁とは、普通鋼材に比べ耐候性に有効なCu(銅)、Cr(クロム)、Ni(ニッケル)等の元素を多く含む耐候性鋼材を用い、表面に緻密で密着性のある“安定さび”と呼ばれるサビが架設1~5年後に形成される鋼材を用い、以後の腐食の進行を極めて遅くするタイプの橋梁。安定さびが形成されれば、塗装および塗り替えの必要がありません。国内実績は100橋を超えています。



橋梁全景 (後方は Manhattan Bridge)

無塗装橋梁例 (日本橋梁建設協会 HP より)

当社の宮澤顧問が**土木学会国際貢献賞**を受賞

以下に土木学会の受賞理由文等をご紹介します。

生年月日：昭和7年1月13日

国 籍：日本

現 職：株式会社 東光コンサルタンツ 顧問

略 歴：東京農工大学農学部林学科卒業

昭和29年	建設省入省
昭和39年	建設省北陸地方建設局河川部河川計画課課長補佐
昭和41年	外務省経済協力局賠償課
昭和44年	建設省北陸地方建設局荒川砂防工事事務所長
昭和47年	海外技術協力事業団開発調査部実施第二課長
昭和49年	国際協力事業団社会開発協力部開発調査課長
昭和53年	建設省河川局砂防部砂防課建設専門官
昭和53年	国際協力事業団社会開発協力部専門調査役
平成元年	国際協力事業団社会開発調査部次長
平成3年	(株)東光コンサルタンツ入社 技術本部理事
平成7年	(株)東光コンサルタンツ取締役本社事業部長兼営業本部副本部長
平成9年	(株)東光コンサルタンツ顧問



宮澤 昭七

表彰理由：

宮澤昭七氏は、外務省及びJICAにおいて、通算して21年間に亘り開発途上国への国際協力の現場で運輸交通、水資源開発、国土保全等をはじめとする社会インフラセクター全般の開発計画策定のための調査業務に従事しました。また、その後も引き続き民間コンサルタント会社において14年間にわたり開発援助の現場で活躍してきた。特にJICAに在職していた18年の間に関与したプロジェクトは65カ国498案件に及び、そのうち76%の案件が円借款等による事業化に結びついている。また、これらの活動を通じ、同氏の専門分野である河川、砂防分野における現地事情に配慮した適応技術の開発に関しても多大な貢献をしてきた。

さらに、1979年にJICAは国内で初めて技術審査と価格によるプロポーザル方式でのコンサルタント選定を導入したが、同氏は海外調査計画の標準化や海外設計積算基準の策定等を通じ本制度の導入に中心的な役割を果たした。この新しい調達方式が、以後の海外におけるODA業務実施の基礎を築いたということができ、この点でも同氏の貢献は多大であった。

以上の理由により、宮澤昭七氏は土木学会国際貢献賞の受賞者としてふさわしいと認められる。

<参考>

宮澤顧問は自費出版で「学・働・楽」と題した自分史を平成16年に出版されています。230ページに及ぶ誌面には宮澤さんの半生が爽やかに綴られています。



株式会社 東光コンサルタンツ

技術本部

担当営業：

〒170-0005 東京都豊島区南大塚3丁目32番1号

TEL: 03-5950-7203 FAX: 03-5950-3652

URL: <http://www.tokoc.co.jp>

担当：本社 技術本部 大川、林

制作：(株)トーコー総研